

農地・水・環境

## 守ろう地域の手に



⑨

継続を不安に思うようになった。こつした時期、現在の農地・水保全管理支払交付金の話があり、文字通り農地と水を守るため共同活動に取り組みこととした。

また、田んぼの隣に小池もつくり、地域の「憩いの場」とした。婦人会、子供会が中心になり、農地にソバを植え、草取り、試食会などを行い、地域の伝統、おきて、祭り事の継承にも努めた。

私たちの地域は旧むつみ村高佐にあり、自衛隊むつみ演習場を水源とする羽月川と蔵目喜川沿いの一集落で、農地約13畝で米とトマ

トを生産している。1972年に設立した組合が中心となって生産を行い、環境保全の共同活動も併せ行っていたが、地域の

高齢化が進むと、活動の目途がなくなり、活動の理念を「ゆとり

農業者の平均年齢は68歳に達し、厳しい状況に変わりはないが、こつした取り組みによって集落内の絆が深まった。孫たちへも自然の大切さを伝えることができ、将来への希望が持てる基礎ができた。

### 岸高環境保全会(萩市)

高齢化が進むと、活動の目途がなくなり、活動の理念を「ゆとり

## 将来へ希望が持てる基礎ができた!



①岸高環境保全会の会員の皆さん

②田んぼの隣で小池づくり、地域の憩いの場となっている

今後は農業施設の長寿命化対策にも取り組み、「ゆとりと岸高組」を継続していきたいと考えている。

(代表、吉村清人)

|| 金曜日掲載 ||

【メモ】代表||吉村清人

▽会員||22人、岸高稲作等集団栽培組合、岸高婦人会、パンパカ子供会  
▽設立||2008年3月31日  
▽事務局||萩市高佐上字岸高、吉村8083  
8・888・0407